

シリーズ認知症

地域包括支援センター日より

脳の働きと認知症の主な原因



認知症は誰にでも起こりうる脳の病気に起因するもので、85歳以上のかたの4人に1人が発症する可能性があると言われています。

た町で暮らし続けられるよう、一人ひとりが認知症について正しく理解することが大切です。

今回から、シリーズで認知症についても住み慣れた町についてお知らせします。

問い合わせ先
役場介護環境課
地域包括支援センター
☎(86)1153[直通]

○脳の働き

脳は、記憶、感覚、思考、感情、呼吸や睡眠などの調節といった生きていくために必要なほとんどの働きをコントロールしています。左右の大脳半球に分かれ、さらに4つのブロックでそれぞれ異なる機能を分担しています。

○加齢に伴う脳の変化

私たちの脳は、年を取るにつれて少しずつしわが深く大きくなっていきます。これは、少しずつ脳

が萎縮しているからです。ほかに

も加齢に伴い脳動脈硬化が進み、脳血流量が低下し、その結果、脳萎縮にいたることもあります。

○脳の検査方法

脳萎縮を知るための検査は、CT、MRIなどがあります。これらの検査は、脳ドックでも受けることができ、近年では「脳萎縮解析検査」というものがありますので、気になるかたは検査を受けてください。

認知症を引き起こす主な病気

【アルツハイマー病】

βアミロイドというたんぱく質のごみなどが蓄積し、神経細胞のネットワークが壊れて発症する。比較的早い段階から、記憶障がい、見当識障がい、不安、うつ、妄想などが出やすくなる。

【レビー小体型認知症】

小刻み歩行などのパーキンソン症状や、幻視を伴い、症状の変動が大きいのが特徴。小刻み歩行などにより転倒しやすい。

【前頭側頭型認知症】

司令塔役の前頭前野を中心に障がいが起き、我慢することや思いやりなどの社会性を失い「わが道を行く」行動をとる特徴がある。

【脳血管性認知症】

脳梗塞、脳出血、脳動脈硬化などのために、神経の細胞に栄養や酸素が行き渡らなくなり、その部分の細胞が死んだり、神経のネットワークが壊れて、意欲が低下したり複雑な作業ができなくなったりする。

* 次回の「ろばカフェ」*

○日時
6月10日(金)
午後1時30分～3時

○場所
町文化ホール
憩いの部屋

※変更になる場合があります。



脳トレコーナー

次の□に文字を入れ、言葉にしましょう。()はヒントです。答えはページ下にあります。

- ①ハン□チ
- (手を洗ったら)
- ②ろ□そく
- (仏壇にあるもの)
- ③よう□ん
- (小豆菓子)
- ④かい□ん
- (階の移動をするとき)
- ⑤□ようぼう□や
- (緊急時の赤い乗り物)